

2021年8月2日 拡大園内研修 午後の部 幼児教育におけるカリキュラム・マネジメント

幼児教育実践におけるカリキュラム・マネジメントは
本当にPDCAなのか？

東京大学の浅井幸子先生、教職大学院生である高校・中学校
の先生方や他園の先生方と協働して探究しました。

教育実践においてカリキュラム・マネジメントの重要性について言及されるようになって数年経つけれど、実践の営みで感じて実際にカリキュラムを編成している営みはPDCAとは異なるのではないかな？

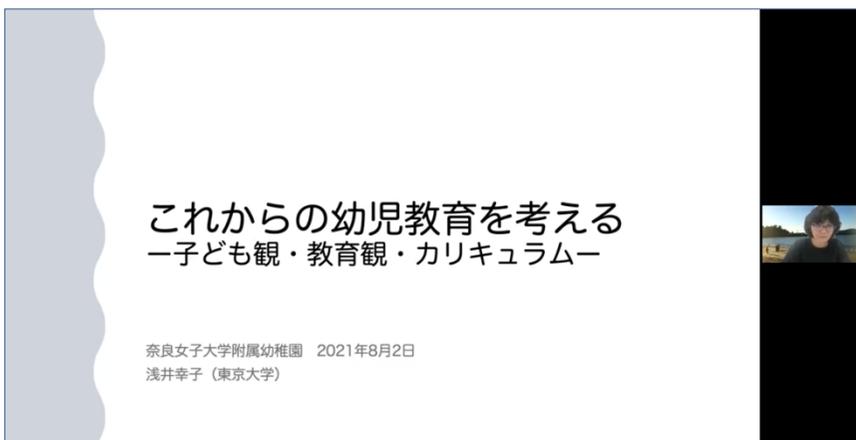
本園のこれまでの研究を振り返り、

幼小一貫したコンピテンシーベースのカリキュラムデザインに至るまでの経緯と、そこには子どもの遊びや育ちをみとる教師のまなざしの意識化や本園の「子どもスタートの教育」哲学の明文化があったことを踏まえ、

浅井先生から歴史や海外の保育から見た日本の保育のこれからや

保育の営みはどのように表現できるのかというお話をお聞きました。

その後、「学び続ける専門家コミュニティを構築」すべく、異質な他者と対話を重ねる中で、教育の本質には幼児教育の考え方が繋がっていることや、教育とは子どもと対象との関係性の中で捉えていくということの重要性が実感できました。



2021



幼児教育におけるカリキュラム・マネジメント
—学び続ける専門家コミュニティを構築する—

・ここまでどのようにして
幼稚園という組織として変容してきたのか
…「見て学ぶ」の限界→組織として実践をよりよくするためには

→ これまで言語化できず、
捉えきれない大切なものは
開いていくことで見えてくるのではないかな

子どもの姿をみとるとのこと



砂に水を混ぜて、
型の中に入れて
固めることを
楽しんでいる

オオカミになって、
お客さんが来るのを
楽しみに待っている

砂型に砂を入れるために
砂場を掘ったら、
掘ることが
楽しくなってきた



様々な色や形の
砂型を並べることを
楽しんでいる

今年度の取り組み
—異質な他者 対話 ひらく



- 1 | 新しい仲間を迎え、「組織」を意識する
- 2 | DD (Daily Dialogue)
日々、立場の異なる人々で対話をする
- 3 | 研修デザイン
園をひらく 答えを求めない まとめない ケアリング
- 4 | (未定) 保護者との協働スタンスづくり